

## 春の行楽期における山岳遭難の防止について

昨年、春の行楽期（4月から6月）における山岳遭難のうち、山菜採り目的で14人の方が遭難し、うち4人の方が亡くなり、1名の方が行方不明となっております。  
山菜採りに伴う事故を防止するために、次のことに注意しましょう。

### 「いつも行っている山でも注意が必要です」

- ◆ ひとりでは行かず、行先、帰宅時間を家族に告げ、早立ち早帰りをする。
- ◆ クマ鈴、ラジオ、食料、雨衣、携帯電話（予備電池）を忘れずに。
- ◆ 万が一の通報のため、携帯電話のGPS機能を有効にする。
- ◆ 体力に不安、体調の悪い時は山に入らない。途中でも下山する。
- ◆ 道に迷ったらむやみに動き回らず、見晴らしの良い場所で助けを待つ。
- ◆ クマに注意する。
  - ・ 子グマのそばには必ず母グマがいるので、絶対に近づかない。
  - ・ 大声を上げて騒がない、走らない。背中を見せずにゆっくりと後ずさりし、静かにその場を離れる。

#### ※ 参考

昨年の山岳遭難者の内訳

		平成30年			
		件数	遭難者		
			人数	死者	行方不明
登山目的別	登山	48	61	3	1
	山菜採り	14	15	4	1
	きのこ採り	11	13	2	
	溪流釣り	1	1		
	スキー等	2	3		
	写真撮影	2	2		1
	狩猟	1	1		
	仕事	1	1		
	その他	8	10		1
合計		88	107	9	4

※昨年は7月にも山菜採り遭難が1件（1名）ありました。